

(マンガ科)

科目 区分	授 業 科 目	授業 時間数	うち 実務教員に よる授業	授業 時間数	うち シラバス添付	授業 時間数	備考
講義	特別講義・ホームルーム	240					
講義	編集実務論Ⅰ	60	○	60			
講義	編集実務論Ⅱ	60	○	60			
講義	人物・動物の構造	120	○	120			
実技	キャラクター表現Ⅰ	120					
実技	キャラクター表現Ⅱ	120					
講義	ストーリー構成Ⅰ	120	○	120			
講義	ストーリー構成Ⅱ	120	○	120			
演習	マンガⅠ	120	○	120			
演習	マンガⅡ	120	○	120	☆	120	
演習	マンガ基礎技術	120					
演習	マンガクロッキー	120					
実技	Webコミック	180	○	180			
実技	マンガⅢ	120	○	120			
実技	マンガⅣ	60	○	60			
実技	アシスタントテクニック	120	○	120			
演習	デジタルマンガ基礎Ⅰ	120	○	120			
演習	デジタルマンガ基礎Ⅱ	120	○	120			
実技	マンガゼミ	120	○	120			
講義	キャリアプランニング	120	○	120			
総授業時数		2,400		1,680		120	
卒業に必要な授業時数		2,400					

2020

区分	必修	学部M科1年
----	----	--------

科目名	マンガⅡ		
開講期	前後期	時間数	3H
講師名	ダン ヨシコ		
授業概要	<p>キャラクター作成の要素と、キャラクターの魅力を探り、見せ方の理解を目指します。ひとコママンガや4コママンガは、限られたコマ数の中でメッセージを伝えなければなりません。そのためには、ストーリーものとはちがったテクニックが必要になります。この授業では、簡潔に表現するための基礎技術の習得はもちろんのこと、想像力、妄想力によるマンガのアイデアを出す発想法も学びます。この授業は、実習・実技形式が基本となります。担当講師は、実務経験に基づいて授業を展開している。</p>		
授業計画	回数	主題・目的	概要 持参物
前期	1		表情を描く / キャラクターの感情表現 筆記用具
	2		ペン、インクに慣れる
	3		ヘアスタイルを描く
	4		ヘアスタイル (男4・女4) マンガ用具一式
	5		老若男女 / キャラクターの年齢の描き分け (8人描き)
	6		老若男女 / キャラクターの年齢の描き分け (設定と演出)
	7		老若男女 / キャラクターの年齢の描き分け 筆記用具
	8	現代物 時代物 ファンタジーなどの 世界観による表現	キャラクター50人描き / 描き分け要素、性格、身体表現
	9		キャラクター50人描き / 衣装、小道具、小物、資料の活用
	10		キャラクター50人描き / 設定による効果的なポーズ、演出
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		講評会
後期	1	4コマ連載の為の アイデア出し	4コママンガ / 起承転結、簡潔表現、台詞の効用
	2		4コママンガ / ネーム
	3		4コママンガ / 下絵チェック
	4		4コママンガ / 原稿〆切、コピー誌提出
	5		講評会
	6		妄想画 / ストーリーの発想
	7		妄想画 (生物) 原稿、コピー提出 (投票)
	8		妄想画 (植物) 原稿、コピー提出 (投票)
	9		妄想画 (乗り物) 原稿、コピー提出 (投票)
	10		講評会
	11	16ページに向けての アイデア出し	主題さがし / ストーリー作成のための発想法、キャラクター身上書作り、簡易なプロット
	12		主題さがし / ストーリー作成のための発想法、下絵チェック
	13		主題さがし / ストーリー作成のための発想法、原稿〆切、コピー提出
	14		講評会
	15		講評会
評価方法	表現力、技術力、発想力、課題進行状況、出席率、授業意欲など		
テキスト 参考書			

2020

区分

必修

I部M科1年

科目名	ストーリー構成 I			
開講期	前後期		時間数	3H
講師名	岩井好典			
授業概要	アイデアの出し方、ストーリーの組み立て方、受け手の心に残るマンガの作り方のテクニックを学びます。授業の前半は講義に重点を置き、後半はマンガに限らない多様な物語表現について触れることで、ストーリーを感覚的に捉えられるようにします。			
授業計画	回数	主題・目的	概要	持参物
前期	1	基本からプロットまで	ストーリーの基本 I	筆記用具とノート 他は前の授業で指示
	2		ストーリーの基本 II	
	3		ストーリーの基本 III	
	4		ストーリー展開 I	
	5		ストーリー展開 II	
	6		プロットを作る I	
	7		プロットを作る II	
	8	魅力的なストーリーとは	ストーリーの膨らませ方 I	
	9		ストーリーの膨らませ方 II	
	10		キャラクターの配置 I	
	11		キャラクターの配置 II	
	12		ドラマを作る I	
	13		ドラマを作る II	
	14		ドラマを作る III	
	15		製読者を引きつけるために	
後期	1	ストーリーの構造と演出	エピソードとシークエンス I	筆記用具とノート 他は前の授業で指示
	2		エピソードとシークエンス II	
	3		エピソードとシークエンス III	
	4		シーンと感情 I	
	5		シーンと感情 II	
	6		シーンと感情 III	
	7		様々な演出 I	
	8		様々な演出 II	
	9		様々な演出 III	
	10	ストーリーを作る	マンガのストーリー実践 I	
	11		マンガのストーリー実践 II	
	12		マンガのストーリー実践 III	
	13		マンガ上達の基本	
	14		作品構成 I	
	15		作品構成 II	
評価方法	出席率・課題に取り組む姿勢。課題提出率。			
テキスト 参考書	授業ごとにプリント配布。必要に応じて個々で資料を持参。			

2020

区分

必修

I部 M科 1年

科目名	マンガ 基礎技術			
開講期	前後期		時間数	3H
講師名	青柳 ちかこ			
授業概要	<p>ドラマを盛り上げる為に必要な背景テクニックを基礎から応用まで、一年間を通して学んでいきます。 また、作業時間を意識する事で、より実践的に役立つ実力を身につける事を目的とします。</p>			
授業計画	回数	主題・目的	概要	持参物
前期	1	マンガ用具の使い方	道具の使い方、原稿用紙の使い方、ワケ線	マンガ用具一式
	2	ペン-1	カケアミ、ナワアミ、点描	
	3	ペン-2	流線、集中線	
	4	ペン-3	ベタフラッシュ、ウニフラッシュ	
	5	ホホワイト-1	修正テクニック、溝引き	マンガ用具一式+ホホワイト、筆、筆洗、ガラス棒、溝引き定規
	6	トーン-1	目の読み方、削り基礎	マンガ用具一式+トーン61番、カッター
	7	トーン-2	雲、水、木	
	8	トーン-3	トーンフラッシュ、重ね貼り	
	9	パース-1	一点透視図法	30センチ以上の定規、シャープペン
	10	パース-2	二点透視図法	
	11	パース-3	三点透視図法	
	12	パース-4	楕円、分割、階段、車軸	
	13	効果-1	スブラッシュ	マンガ用具一式+新聞紙、ぞうきん
	14	効果-2	描き文字	マンガ用具一式
	15	授業調整日		
後期	1	背景-1	草、花、木	マンガ用具一式
	2	背景-2	岩、地面、水	
	3	背景-3	廊下、分割の応用	
	4	背景-4	室内、スケールを合わせる	
	5	小道具-1	小物、食べ物	
	6	背景-5	家の外観	
	7	パース-5	復習	30センチ以上の定規、シャープペン
	8	背景-6	室内描写 1	マンガ用具一式
	9	背景-7	室内描写 2	
	10	背景-8	室内描写 3	
	11	トーン-4	復習	マンガ用具一式+トーン
	12	背景-9	自然物 1	マンガ用具一式
	13	背景-10	自然物 2	
	14	背景-11	自然物 3	
	15	授業調整日		
評価方法	<p>課題の提出＝公開添削 「本人の意図したイメージが表現出来ているか」「技術的に優れているか」 「授業に積極的に挑んでいるか」「〆切が守られているか」を総合的に判断します。</p>			
テキスト 参考書	マンガ本各自持参			